

恋愛・結婚調査 2021

コロナ流行前と比べて約3割が 「恋人が欲しくなった」「結婚したくなかった」と変化 恋愛・結婚意向のない人も約10人に1人が「意向あり」に態度変容

恋人の有無、交際経験割合は前回調査（19年）と変化なし
“恋愛満足度”の高さには、感謝を伝えるなど日頃の言動と、連絡頻度が影響

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）が運営する『リクルートブライダル総研』では、恋愛、結婚の実態について詳細を把握するため、「恋愛・結婚調査2021」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

恋人がいる人の割合は33.4%で、恋人がいない人の割合は66.6%と2019年調査と比べて大きな変化はない（P3）

20～40代未婚男女のうち、恋人がいる人の割合は33.4%、恋人がいない人の割合は66.6%になり、そのうち交際経験のない人は28.6%。2019年調査と比べてそれぞれ大きな変化はない。女性より男性の方が恋人がいる人の割合が低く（男性：30.7%、女性36.9%）、これまで交際経験がない人の割合が高い（男性：32.9%、女性23.1%）。

新型コロナウイルス感染症流行前と比べて約3割が「恋人が欲しくなった」と変化。恋愛意向のない人も約1割が恋人が欲しくなったと回答（P4-6）

■現在恋人がいない人のうち、新型コロナウイルス感染症流行前（以下コロナ前）と比べて恋人が欲しくなったと思った割合（31.2%）は、欲しくないと考えた割合（14.9%）を約16ポイント上回った。また、恋愛意向のなかった人においても約10人に1人（11.7%）がコロナ前よりも恋人が欲しくなったと答えている。

■恋愛意向がない人において、コロナ前より恋人が欲しくなった割合は、男性全体で11.4%、女性全体で12.3%。性・年代別で見ると、恋人が欲しくなった割合は女性20代（21.2%）が最多。

■恋愛意向はないが、恋人が欲しいと思った人における、コロナ前よりも恋人が欲しいと思った主な理由は「好きな相手と一緒にいたい」「精神的に安定した生活が送れると思う」「自分の家庭を持ちたい」「精神的に支え合える存在が欲しかった」「経済的に安定した生活が送れると思う」が上位となった。

恋愛に満足している割合は64.9%。恋人と結婚を意識している人の割合は6割超。恋愛に満足している人は日頃の言動と連絡頻度で顕著な差（P7-9）

■現在恋人のいる人において、恋愛に満足している割合は64.9%。現在の恋人と将来的に結婚したい割合は61.0%。また恋愛に満足している人の方が比較的結婚を意識している。

■恋愛に満足していない人と比べて恋愛に満足している人が実践している主な意識や行動は、「『ありがとう』を言う」「スキンシップを多くする」「笑顔でいる」「『好き・愛してる』の気持ちを伝える」「その日あったことを話す」「相手のことをよく褒める」で顕著な差が見られた。

■恋人との連絡頻度では、恋愛に満足している人は恋愛に満足していない人と比べて「毎日（週に7日）」連絡している人の割合が高い。

新型コロナウイルス感染症流行前と比べて約3割が「結婚したくなかった」と変化。結婚意向のない人も約1割が結婚したくなかった（P10-11）

■コロナ前と比較して、「結婚したくなかった」は30.4%で「結婚したくなくなった」を上回った。また結婚意向がない人においても約10人に1人（11.2%）がコロナ前よりも結婚したくなかったと答えている。

■結婚意向はないが、コロナ前よりも結婚したくなかった人は、コロナ前よりも結婚したくなくなった人と比べて「家族としての絆」「人間として成長」「性的な充足」「税金や社会保障で有利」「社会的信用」といった結婚観を持つ人が多くなっている。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

【調査方法】

インターネットによるアンケート調査

【調査期間】

2021年9月27日(月)～2021年9月29日(水)

【調査対象】

全国の20～49歳の未婚男女

【回収サンプル数】 2,400人

本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別の人口構成に合わせるために、サンプルに重みづけを行った(ウエイトバック集計)

※未婚者に離別、死別者(今は結婚していない)は含んでいない

回収サンプル構成

	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	200	200	200	200	200	200
女性	200	200	200	200	200	200

合計:2,400サンプル

本調査対象者(2,400ss)に関して、「平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)」を用い、ウエイトバックによる補正を行った



ウエイトバック補正後のサンプル構成

	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40～44歳	45～49歳
男性	353	284	211	181	182	140
女性	329	237	155	123	117	88

合計:2,400サンプル

※ウエイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。

◆人口構成比算出元データ

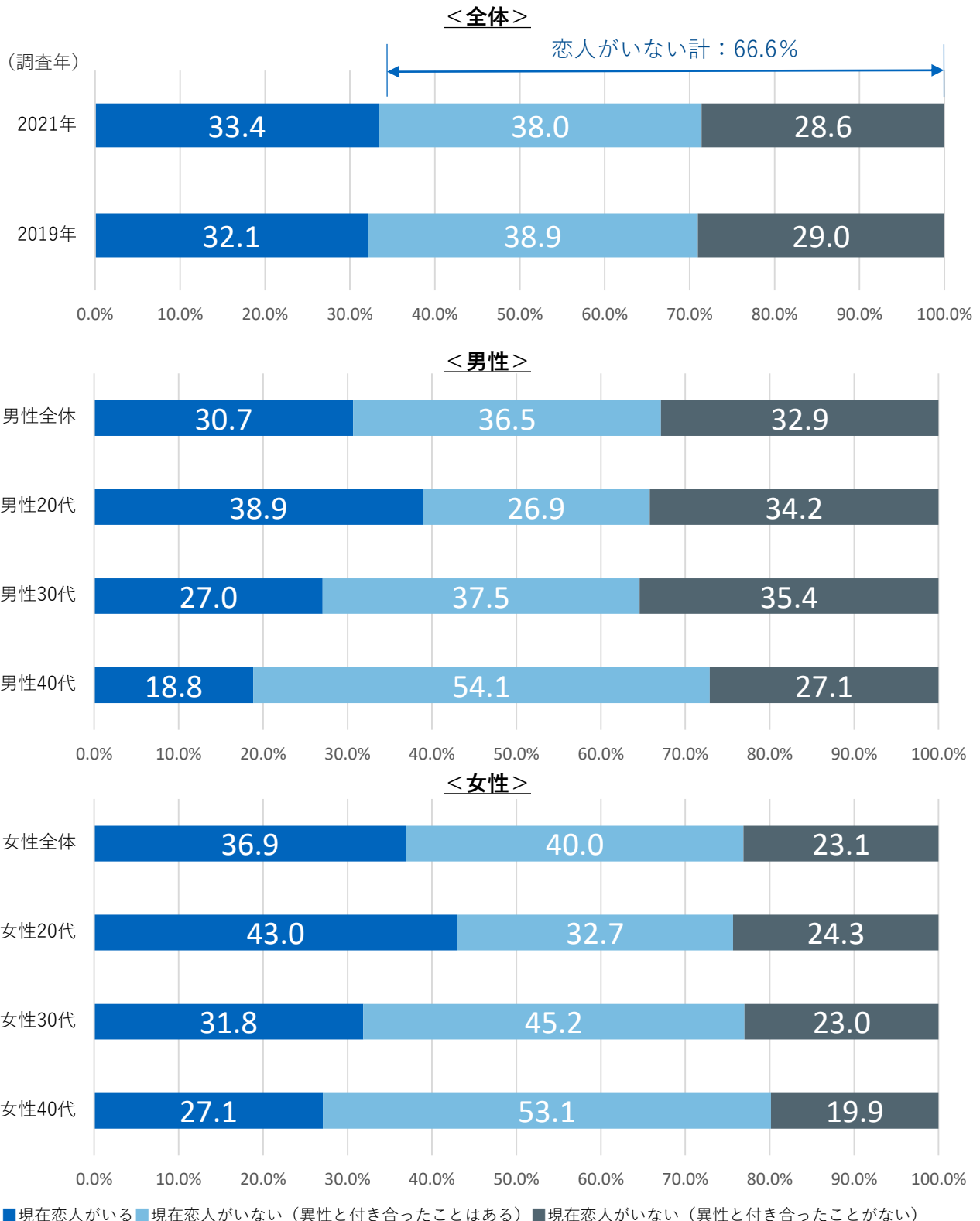
・平成27年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)より

<http://www.stat.go.jp/data/jinsui/>

恋人がいる人の割合

20～40代未婚男女のうち、恋人がいる人の割合は33.4%、恋人がいない人の割合は66.6%になり、そのうち交際経験のない人は28.6%。2019年調査と比べてこの割合に大きな変化はない。一方、女性より男性の方が恋人がいる人の割合が低く（男性：30.7%、女性36.9%）、これまでに交際経験がない人の割合が高い（男性：32.9%、女性23.1%）。

■恋人がいる人の割合（全体/単一回答）



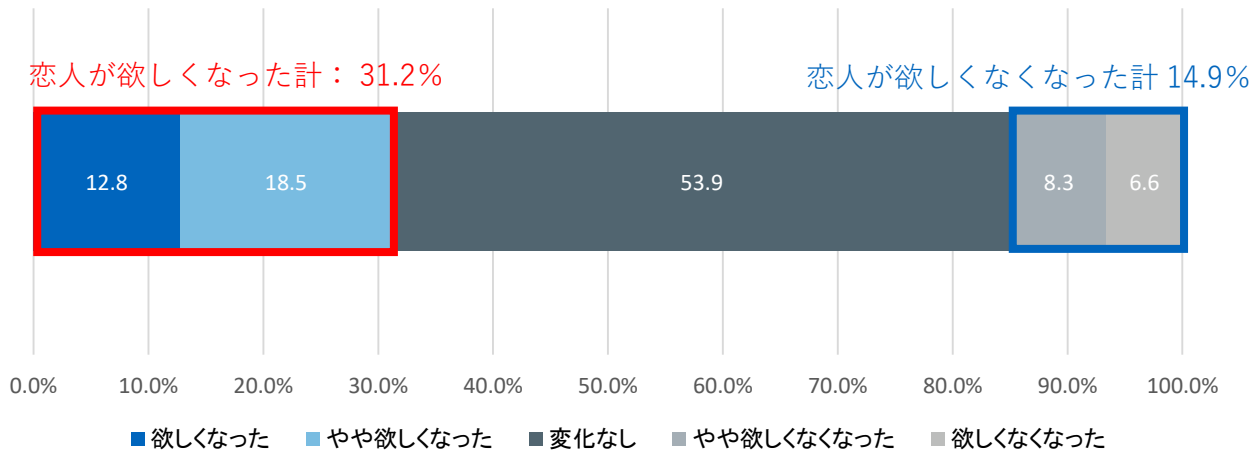
※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

新型コロナウイルス流行前と比べて恋人が欲しくなった人の割合

現在恋人がいない人のうち、新型コロナウイルス感染症流行前（以下コロナ前）と比べて恋人が欲しくなったと思った割合（31.2%）は、欲しくないと考えた割合（14.9%）を約16ポイント上回った。また、恋愛意向のなかった人においても約10人に1人（11.7%）がコロナ前よりも恋人が欲しくなったと答えている。

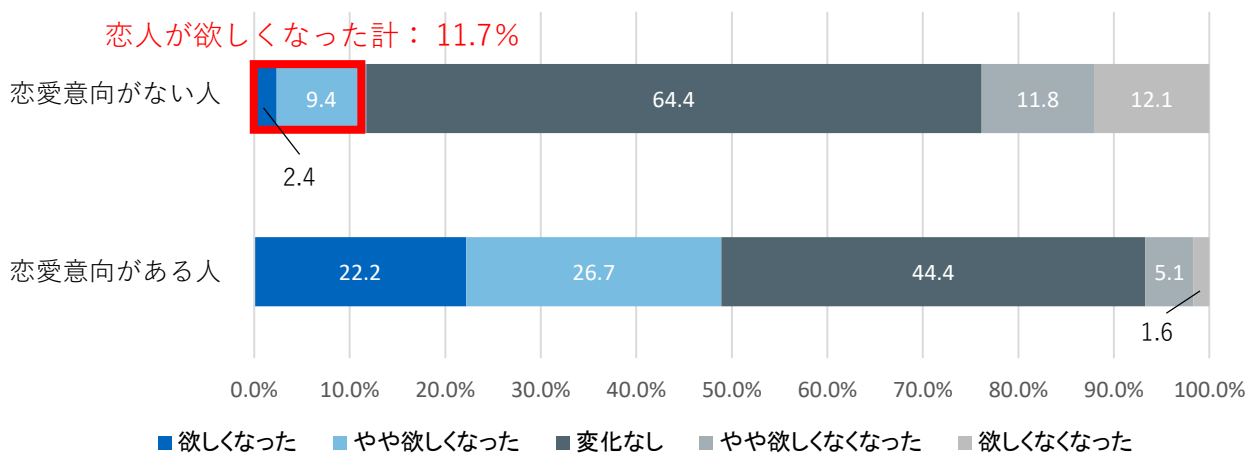
■ コロナ前と比較した恋愛意向別の恋愛意欲（現在、恋人がいない人/単一回答）

コロナ前と比べて恋人が欲しくなった割合



※恋愛意欲は、Aコロナ前より（いずれは）恋人が欲しい Bコロナ前に比べて（今後も）恋人は欲しくないの設問に対し以下回答の計
Aに寄った⇒欲しくなった ややAに寄った⇒やや欲しくなった
変化は特にない：変化なし
Bに寄った⇒欲しくなくなった ややBに寄った⇒やや欲しくなくなった

恋愛意向別のコロナ前と比べて恋人が欲しくなった割合



※恋愛意向がある人は「（いずれは）恋人が欲しい」「やや欲しい」の計
恋愛意向がない人は「（今後も）恋人は欲しくない」「あまり欲しくない」「どちらともいえない」の計

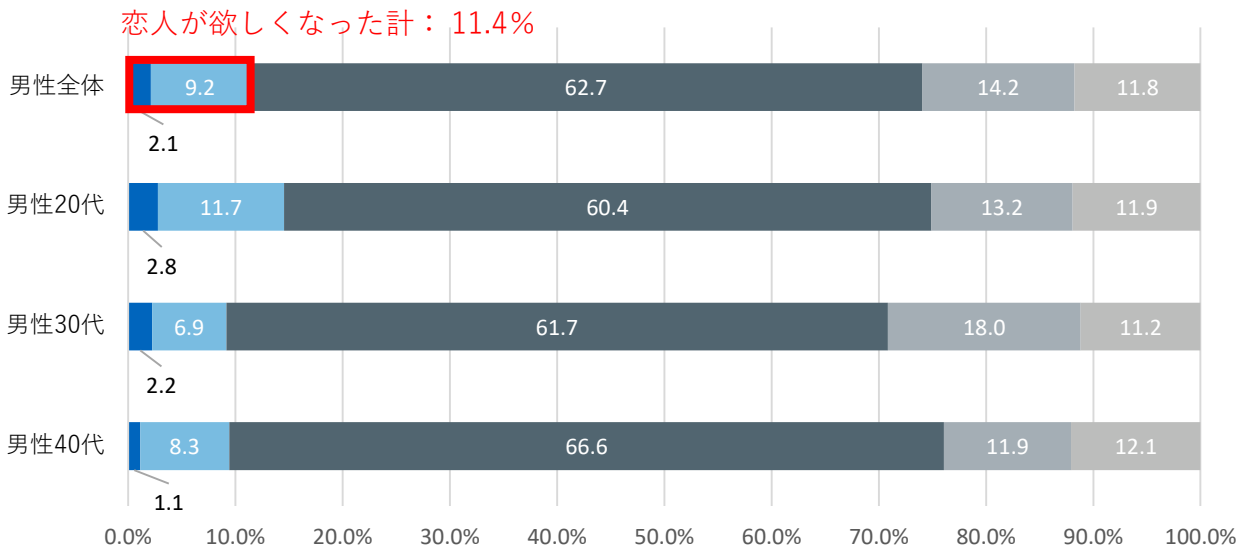
※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

恋愛意向のない人のコロナ流行前と比べて恋人が欲しくなった人の割合（性・年代別）

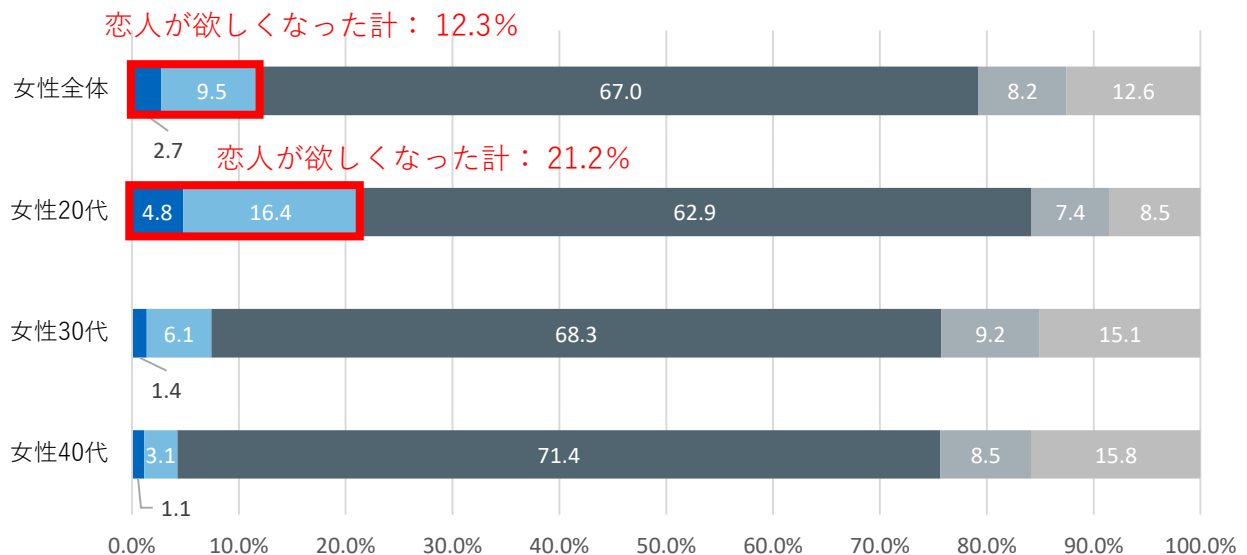
恋愛意向がない人において、コロナ前より恋人が欲しくなった割合は、男性全体で11.4%、女性全体で12.3%。性・年代別で見ると、恋人が欲しくなった割合は女性20代（21.2%）が最多。

■ 恋愛意向のない人のコロナ前と比べた恋人が欲しくなった割合（現在恋人がいないかつ恋愛意向なし/単一回答）

<男性>



<女性>



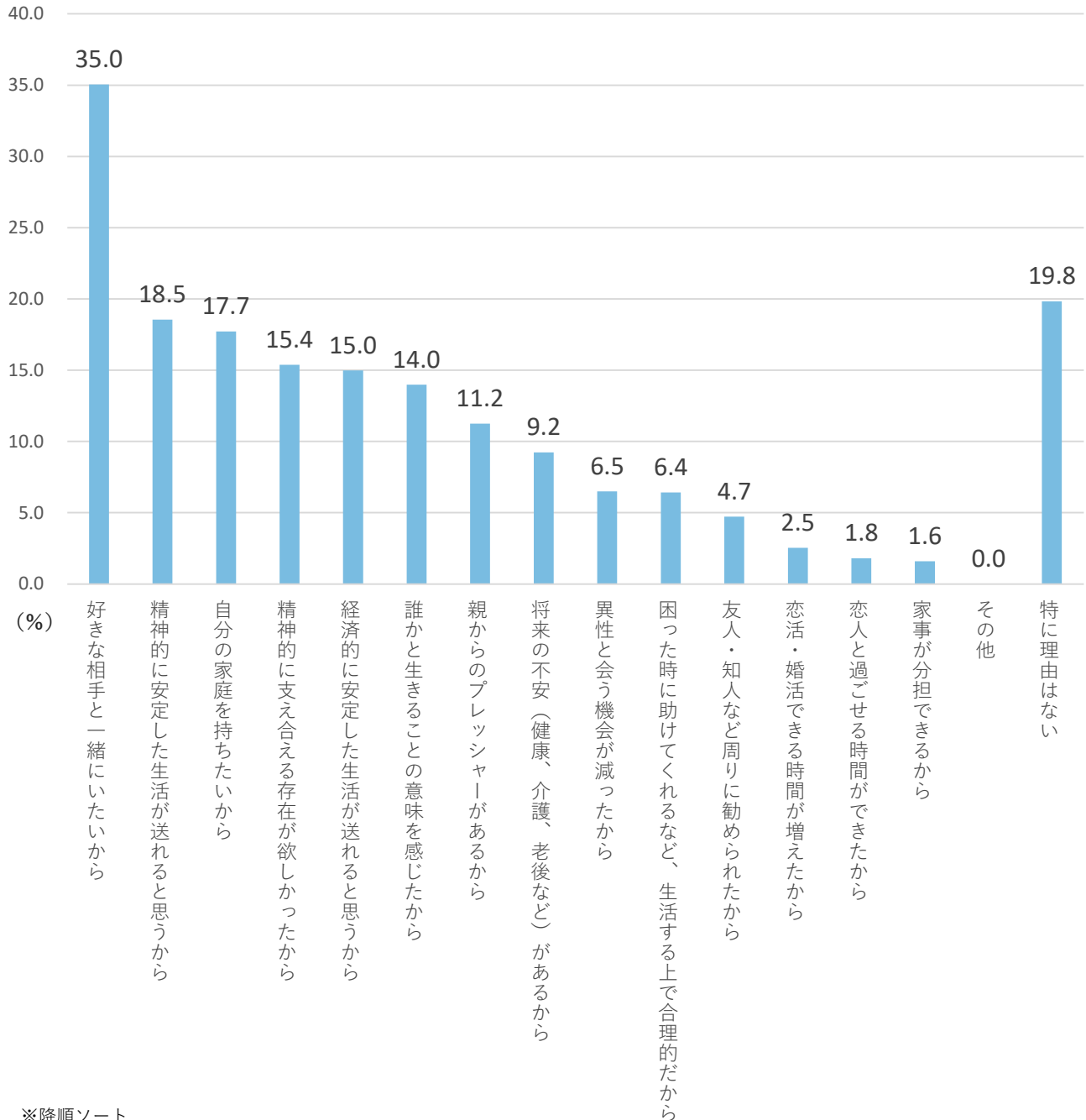
■ 欲しくなった ■ やや欲しくなった ■ 変化なし ■ やや欲しくなくなった ■ 欲しくなくなった

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

恋愛意向はないが、コロナ流行前より恋人が欲しくなった人の理由

恋愛意向はないが、恋人が欲しいと思った人における、コロナ前よりも恋人が欲しいと思った主な理由は「好きな相手と一緒にいたい」「精神的に安定した生活が送れると思う」「自分の家庭を持ちたい」「精神的に支え合える存在が欲しかった」「経済的に安定した生活が送れると思う」が上位となった。

■ 恋愛意向のない人がコロナ前より恋人が欲しいと思うようになった理由（現在恋人がいない/恋愛意向なし/コロナ前に比べて恋人が欲しい人/複数回答）

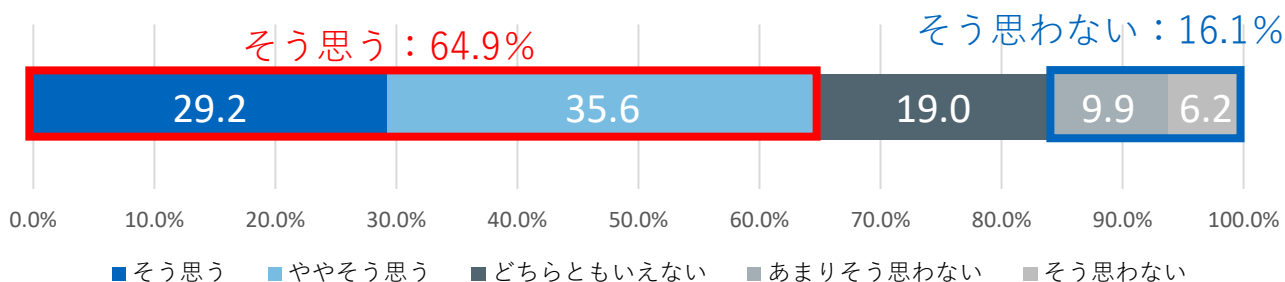


恋愛満足度と結婚の意識状況

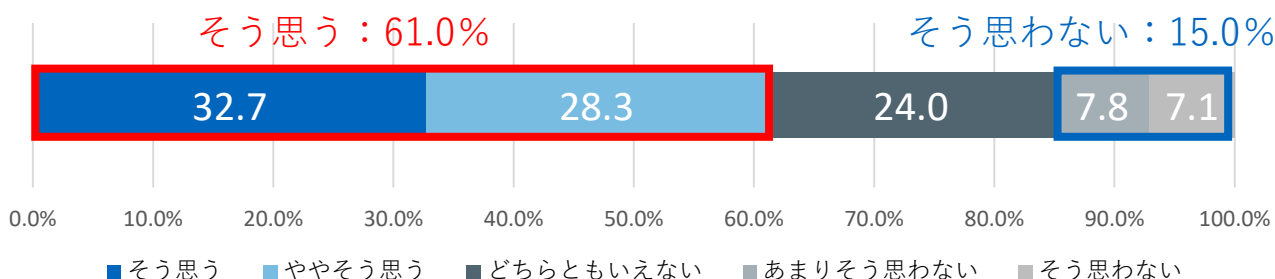
現在恋人のいる人において、恋愛に満足している割合は64.9%。現在の恋人と将来的に結婚したい割合は61.0%。また恋愛に満足しているの方が比較的結婚を意識している。

■現在の恋人との満足度と結婚への意識（現在恋人がいる/単一回答）

<現在の恋人との関係に満足している>

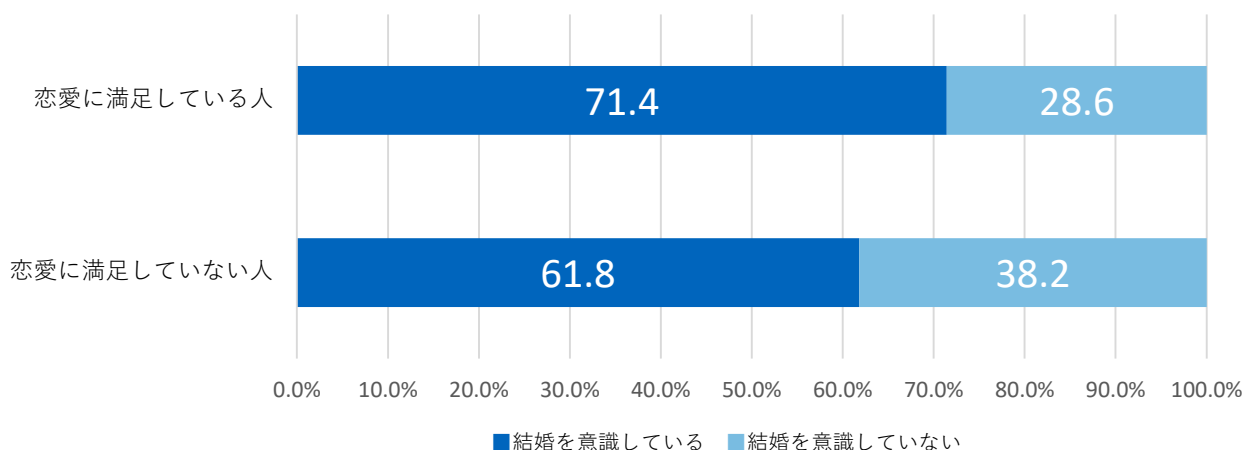


<現在の恋人と将来的に結婚したい>



※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

■恋愛満足度別の結婚意識有無（現在恋人がいる/単一回答）



※恋愛に「満足している人」は以下回答の計

現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思う」「ややそう思う」

恋愛に「満足していない人」は以下回答の計

現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思わない」「あまりそう思わない」

※「結婚を意識している」は以下回答の計

- ・結婚前提に付き合っている
- ・結婚前提と決めていないが、二人で結婚の話をよくする
- ・結婚の話は特にしないが、自分は結婚したい（するだろう）と思っている

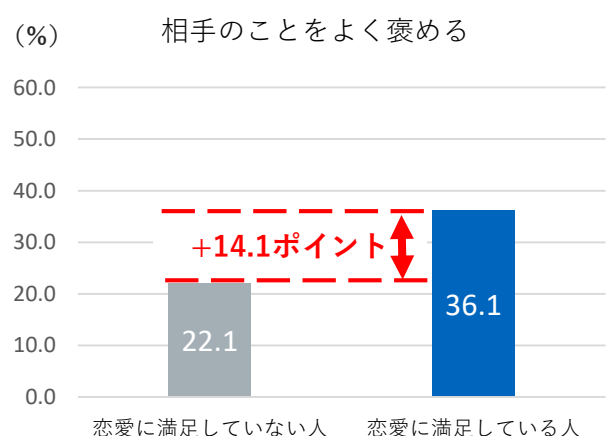
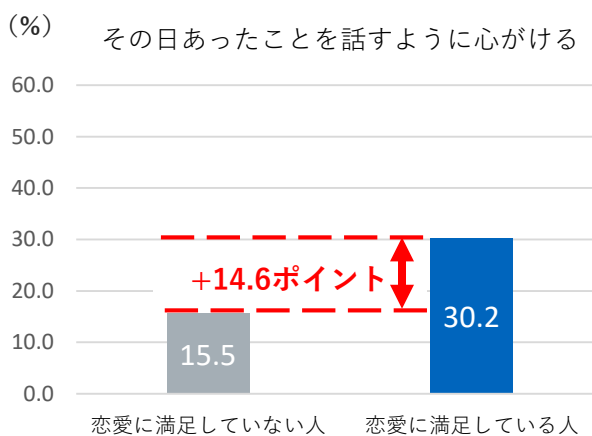
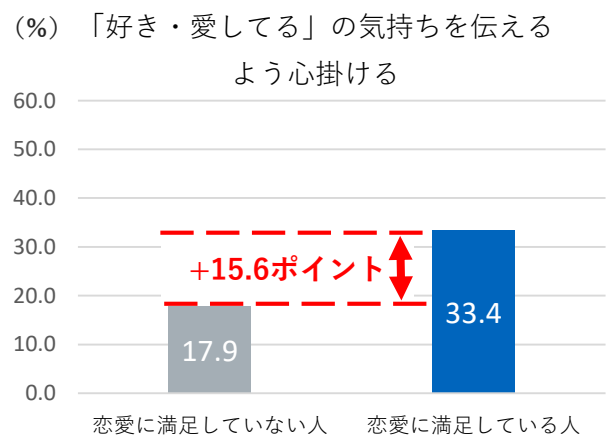
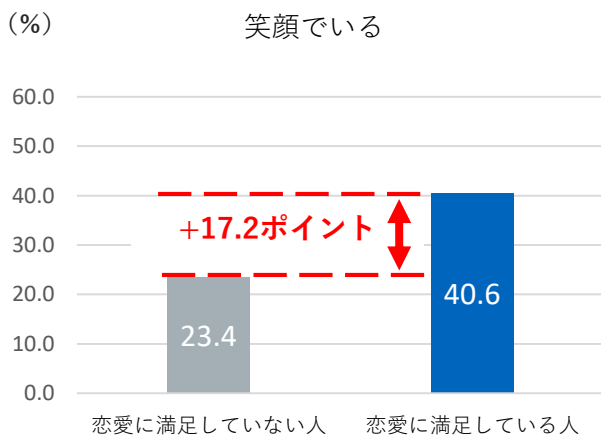
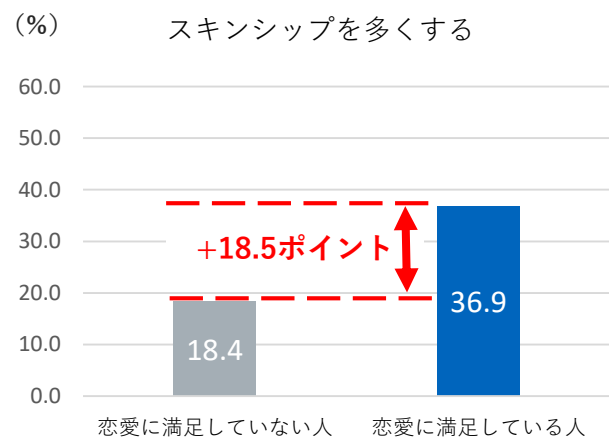
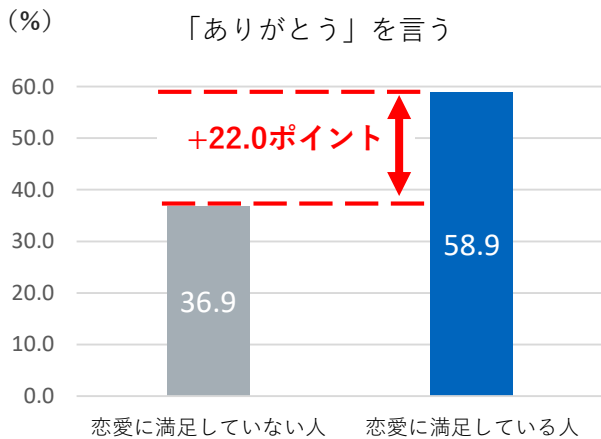
「結婚を意識していない」は以下回答の計

- ・結婚の話は特にしないが、今の恋人とずっと一緒にいたい（いるだろう）と思う
- ・今の恋人とは結婚しない（なんとなく）と思う

恋愛満足度別の実践している意識や行動の状況

恋愛に満足していない人と比べて恋愛に満足している人が実践している主な意識や行動は、「『ありがとう』を言う」「スキンシップを多くする」「笑顔でいる」「『好き・愛してる』の気持ちを伝える」「その日あったことを話す」「相手のことをよく褒める」で顕著な差が見られた。

■恋愛満足度別の意識、実践している行動（現在恋人がいる/複数回答/差分による降順ソート、上位6位抜粋）



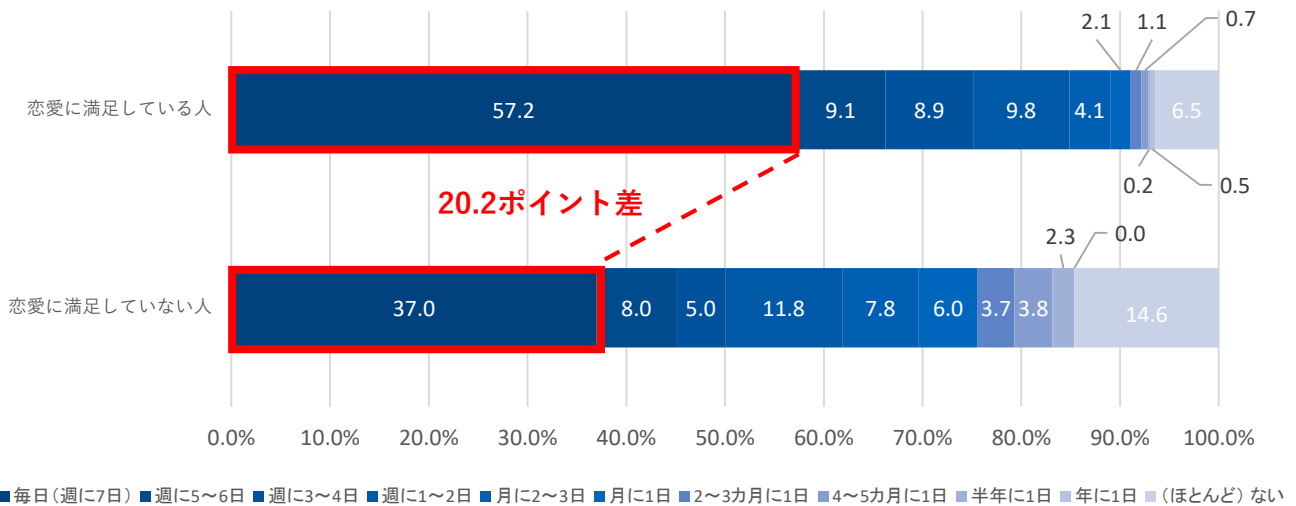
※恋愛に「満足している人」は以下回答の計
現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思う」「ややそう思う」
恋愛に「満足していない人」は以下回答の計
現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思わない」「あまりそう思わない」

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

恋愛満足度別の恋人との連絡頻度

恋人との連絡頻度について、恋愛に満足している人は恋愛に満足していない人と比べて「毎日（週に7日）」連絡している人の割合が高い。

■恋愛満足度別、恋人との連絡（メールやSNS上でのやりとり）頻度（現在恋人がいる/単一回答）



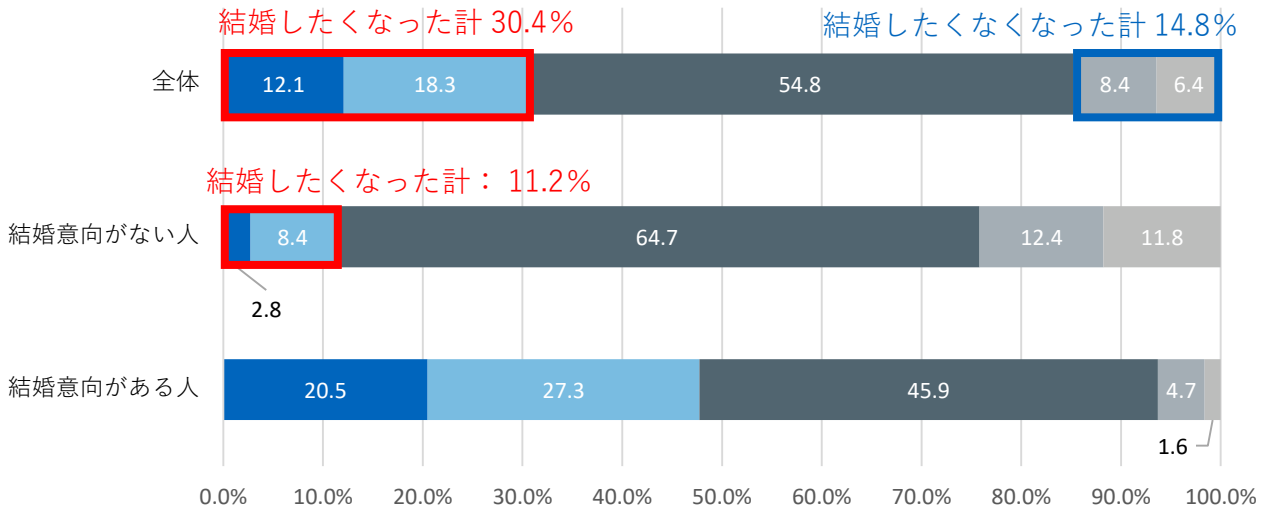
※恋愛に「満足している人」は以下回答の計
現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思う」「ややそう思う」
恋愛に「満足していない人」は以下回答の計
現在の恋人との関係に満足しているかに対し「そう思わない」「あまりそう思わない」

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

結婚意欲におけるコロナ影響

コロナ前と比較して、「結婚しなくなった」は30.4%で「結婚しなくなかった」を上回った。また結婚意向がない人においても約10人に1人（11.2%）がコロナ前よりも結婚しなくなったと答えている。

■ 結婚意向別のコロナ前と比較した結婚意欲の変化（全体/単一回答）



■ 結婚しなくなった ■ やや結婚しなくなった ■ 変化なし ■ やや結婚しなくなかった ■ 結婚しなくなかった

※結婚意欲は、Aコロナ前に比べて（いずれは）結婚はしたい Bコロナ前に比べて（今後も）結婚はしたくないの設問に対し以下回答の計

Aに寄った⇒結婚しなくなった ややAに寄った⇒やや結婚しなくなった
変化は特になし：変化なし
Bに寄った⇒結婚しなくなかった ややBに寄った⇒やや結婚しなくなかった

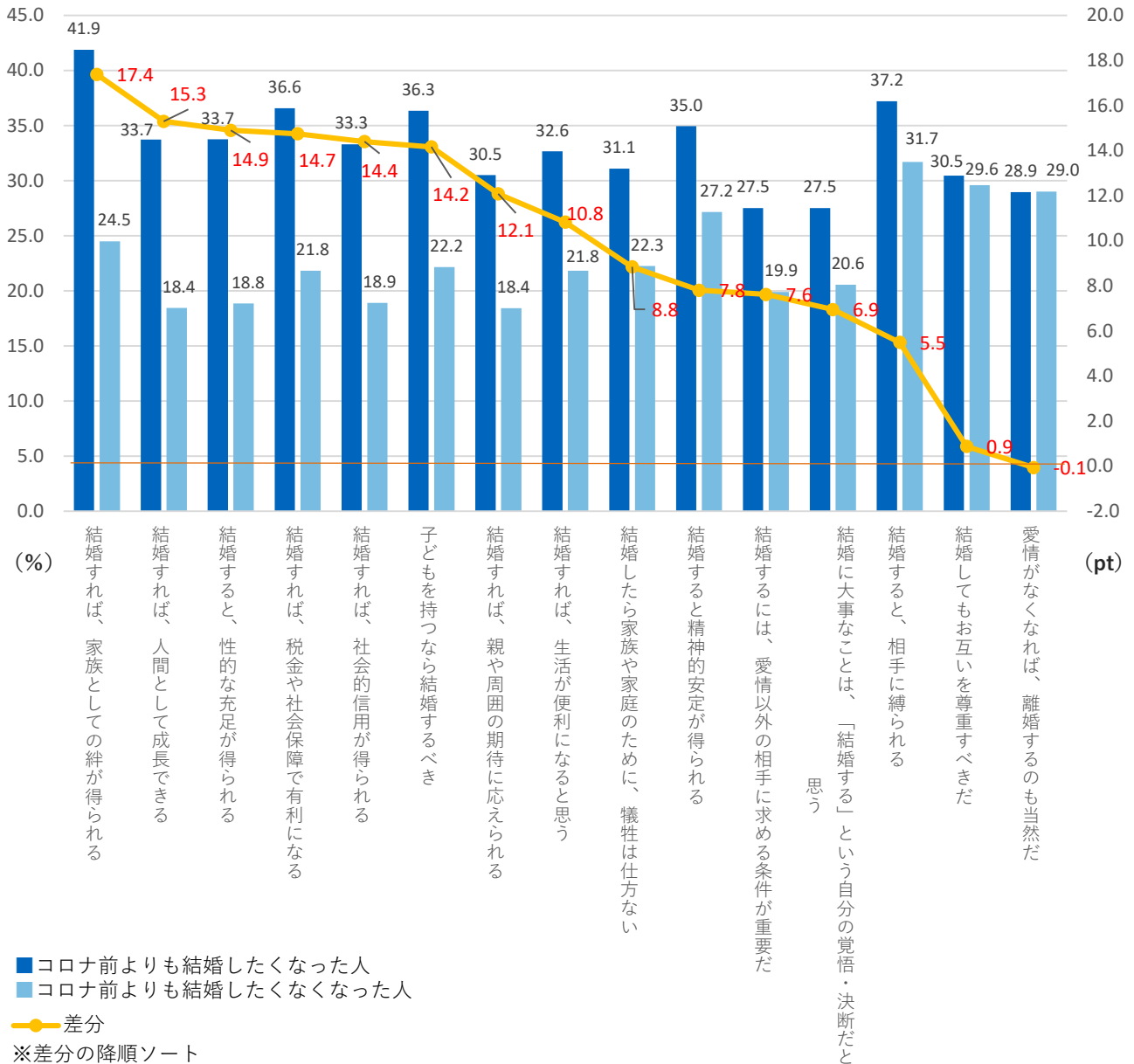
※「結婚意向がある人」は以下回答の計
結婚についてどう考えるかに対し「（いずれは）結婚したい」「（いずれは）やや結婚したい」
「結婚意向がない人」は以下回答の計
結婚についてどう考えるかに対し「どちらとも言えない」「（今後も）結婚したくない」
「（今後も）あまり結婚したくない」

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある

結婚意向はないが、コロナ前よりも結婚しなくなった人は、コロナ前よりも結婚しなくなった人と比べて「家族としての絆」「人間として成長」「性的な充足」「税金や社会保障で有利」「社会的信用」といった結婚観を持つ人が多くなっている。

■ 結婚意向がなくコロナ前より結婚しなくなった人と結婚しなくなった人の結婚観の状況（結婚意向がない/各項目単一回答）

※小数第2位を四捨五入しているため、表記の合計値および差分が一致しない場合がある



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人一人のライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、メディア&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、4万6,000人以上の従業員とともに、60を超える国・地域で事業を展開しています。2020年度の売上収益は2兆2,693億円、海外売上比率は約45%になります。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人一人が輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>